

令和6年度 江戸川区立 臨海 小学校 特別活動全体計画

校長名 西澤 盛和 (公印)

学校の教育目標	人権尊重の精神を基盤として、我が国の伝統と文化の理解に基づいた郷土愛をもつとともに国際的な視野をもって社会の変化に対応し、地球環境を守り、国際社会の平和と発展に貢献できる心身ともに健康で公共の精神に富んだ人間性豊かな児童を育成する。 ・思いやりのある子・よく考える子・じょうぶな子
特別活動の目標	・「自主的・実践的な活動」を通して、主体性、協働性、責任感のある児童を育成する。 ・集団の一員としての自覚を高めると共に、共に生きる力を養う。・様々な人と関わる体験活動の充実を図り、望ましい人間関係や社会性を育成する。
目指す子供像	○自分の役割や責任を果たす子 ○活動の目標を達成するための方法や手段などを全員で考え、話し合い、協力して実践できる子 ○集団の中で互いのよさを認め合うことができる子
特別活動の重点目標	一人一人の児童が互いのよさや可能性を認め、生かし、伸ばしあうことができるような集団活動の中で、個々の児童に育てたい資質や能力を育成する。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としての自覚を持ち、自主的・実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてより良い学校生活作りを企画し、協力して問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。	クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員としてより良いクラブ作りを企画しようとする自主的・実践的な態度を育てる。	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してより良い学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。
指導の方針	○楽しく豊かな学級生活と、互いを尊重し良さを認め合えるような人間関係を育むために、低学年では仲良く助け合おうとする人間関係、中学年では協力し合おうとする人間関係、高学年では信頼し合い他の助けとなろうとする人間関係の育成を重視する。○自己の良さを生かして楽しく豊かな学校生活・学級生活作りを企画しようとする、自主的、実践的な態度を育成する。	○異年齢集団を通して、上学年が下学年を思いやり、下学年が上学年に憧れをもち、仲良く協力してより良い集団を形成しようとする態度を育成する。 ○集団の一員としての自覚を持ち、自分の役割を果たし、自主的・実践的に諸問題を解決しようとする態度を育成する。	○学年や学級の異なる同好の児童が、互いに協力し、信頼し、支え合おうとする人間関係を築こうとする。 ○児童の興味・関心に関わる良さや可能性について、多様な他者との人間関係において認め合うことができるようにする。	○全校または学年という大きな集団の特長をよく理解し、児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにする。 ○児童がそれぞれの役割を担って責任を果たすことができるようにする。 ○児童が共に喜びや苦勞を分かち合いながら目標を成し遂げることができるようにする。
主な指導内容	(1) 学級や学校の生活づくり ア学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ学校における多様な集団の生活の向上 〈話し合い、係、当番、集会〉  (2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全  (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現	学校的全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行う。 (1) 児童会の計画と運営(代表委員会、各種委員会) (2) 異年齢集団による交流(児童会・縦割り班活動) (3) 学校行事への協力(代表委員会、各種委員会)	学年や学級の所属を離れ、第4学年以上の同好の児童を持って組織するクラブにおいて、異年齢集団活動の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行う。 (1) クラブの計画・運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表	○儀式的行事：学校生活に有意義な変化や祈り目付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなる活動を行う。 ○文化的行事：平素の学習の成果を発表しその向上の意欲を一番高めた文化や芸術に親しんだりする活動を行う。 ○健康安全・体育的行事：心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感、体力の向上などに資する活動を行う。 ○遠足・集団宿泊の行事：自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しみと共に、人間関係など集団生活のあり方や公共道徳などについての望ましい体験を積むことができる活動を行う。 ○勤労生産・奉仕的行事：勤労の尊さや喜びを体得すると共に、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う活動を行う。
配当時間	(1) 1, 2年 20 3~6年 25 単位時間 (2) 1, 2年 15 3~6年 10 単位時間	1~4学年6単位時間(集会) 5・6学年35単位時間 (集会6、各種委員会11)	9 単位時間	○儀式的行事：学校や地域について学習したことを基に学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。 ○健康安全・体育的行事：体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度を育成する。 ○遠足・集団宿泊の行事：社会や理科、生活科などの学習を生かして自然や文化などに親しみ、集団生活のあり方や公共道徳などについての望ましい体験を積む。 ○勤労生産・奉仕的行事：生活化、社会科などの学習を生かして、勤労の尊さや喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。
各教科	○国語科の学習内容との関連を図って話し合いの仕方を指導する。 ○「学校図書館の利用」や「心身共に健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科・体育科・家庭科の学習とも関連を図って指導する。	各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かしたりできるようにする。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、児童が自己の特性を生かしながら学校や学級の生活が送れるようにすると共に、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。	○儀式的行事では、礼儀正しく真心を持って行動すること、みんなで協力し合いより良い校園を作ること、郷土や園を愛する心を持つこと、文化の行事では、美しいものや気高いものに感動する心を持つこと、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気をつけ、生命あるを大切にすること、遠足・集団宿泊の行事では、自然環境を大切にすること、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。
他の教育活動との関連	低学年では、自分の役割を知りやべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲良くすること、中学年では、友達と協力して仕事を行うこと、みんなで協力し合っている楽しい学級を作ること、高学年では、互いに信頼し合い他の助けとなろうとすること、身近な集団に進んで参加し自分の役割を主体的に責任を持って果たすことを重視する。	下学年は、わがままをしないで自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活をするなどを、上学年では、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	4年生は、自分のやろりと決めたことを粘り強くやり遂げること、尊敬と感謝の気持ちを持って接することを、5・6年生は、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくなること、誰に対しても思いやりの気持ちをもち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。	外国語活動で身に付けた外国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。
外国語活動	外国語活動で身に付けたコミュニケーション能力を諸活動で活かせるようにする。	外国語活動で学んだコミュニケーション能力や、体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。	「相手との関係を円滑にする」「考えや意図を伝える」「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた課題発見力、主体的な学習態度などを、学校・学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや、友達同士の学び合いなどを、学校・学級の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。	総合的な学習の時間の環境や自然を課題とした問題の解決や探求活動として行われる体験活動と、遠足・集団宿泊の行事との関連や総合的な学習の時間に行われる社会との関わりを考える学習としての体験活動と、勤労の尊さを体得し社会奉仕の精神を養う勤労生産・奉仕的行事との関連を重視する。
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級・学校の生活作りや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況を配慮し、指導の家庭との連携を図り、地域の人材を活用したりする。 基本的な生活習慣の育成、心身共に健康で安全な生活態度の育成、食育の観点から踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図っている。	児童会活動における楽しく豊かな学校生活作りの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりする。 学校行事に協力する児童会活動として、運動会では敬老席に地域の高齢者を招待するなどして、地域を支えてくれる方々に感謝したり協力を得たりする活動を行う。	児童の興味・関心を基本としながら、外部講師や地域の教育力を活用したりするなど、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいように期日などを考慮したり、地域の行事と学校行事との関連を図って実施するなどして、学校の教育について積極的に地域の人々の理解を得る。 勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者やPTAの協力を得るなど、地域の人々と連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。
備考				